

令和3年度 学校法人アルウィン学園 事業報告

ひとりひとりを大切にしたい そしてその育ちを支えたい その思いがアルウィン学園の教育の原点です

1. 学園概要

設立 大正5年(1916)2月

設置する部門 (2部門)

育成部門 玉成保育専門学校 校長 藤岡 郁子
 保育部門 こどもの木かげ
 玉成幼稚園 園長 高橋 かずみ
 野のはな空のとり保育園 園長 佐久本 宏美

学生定員及び在籍生徒・園児数

	学則定員	在籍数 (R3,5/1)	在籍数 (R4,3月末)
玉成保育専門学校 保育専門課程 保育学科	100名	100名(1年44 2年56)	94名(1年39 2年55)
玉成幼稚園	270名	198名(少55中76長67)	195名(少55中73長67)
野のはな空のとり 保育園	30名	35名(9,12,14)	35名(9,12,14)

教職員数

括弧内は令和2年度

	専任教員	専任職員	非常勤	パート	派遣職員
法人		4名(4)			
こどもの木かげ	0名(1)				
玉成保育専門学校	5名(5)	2名(2)			
玉成幼稚園	20名(17)		0名(2)	16名(16)	
野のはな空のとり保育園	16名(15)		2名(1)	18名(18)	2名(2)

法人役員・評議員 (R4,3月末)

	定員	実人員
理事	8名	7名
監事	2名	2名
評議員	17名	16名

理事長 高橋かずみ

理事 国分紀之、今関公雄、小倉 昇
高橋かずみ、藤岡郁子、佐久本宏美、安田淳一

監事 阿部豊太郎、勝間田清一

評議員 国分紀之、今関公雄、小倉 昇
加藤正克、茂井万里絵、関本口子、西川 涼、花井 香
高橋かずみ、佐久本宏美、藤岡郁子、安田淳一
原田麻衣子、山本直子、春澤 薫、黒田康子

委嘱医師 森谷泰和（玉成保育専門学校、玉成幼稚園・野のはな空のとり保育園）

薬剤師 三澤全美

*学校法人の経営に伴って発生する賠償責任に対応するため、役員個人に関する補償及び法人に対する補償を内容とした全日本私立幼稚園連合会が取りまとめる役員賠償責任保険（総支払限度額1億円）に加入。

2. 事業報告

令和3年度運営計画における①基本方針、②運営方針、③教育方針に基づき、以下のとおり、（1）教育内容の充実 （2）施設・設備等教育環境の充実 に努めた。

（1）教育内容の充実

創業者アルウィン先生の建学の精神に沿い、計画当初の教育方針に従い、各部門ともに本学園の特色を生かした教育に努めた。

【アルウィン学園】

① 学園（保育専門学校・保育センター）の教育・保育理念、運営方針の確認と実施

それぞれの部署において、学園のこれまでの歩み、教育・保育理念を確認して教育・保育活動を行った。2021年度は初めて園児や学生にも新型コロナウイルスの感染者が出たため、教育・保育活動において、これまで以上に工夫が必要であったが、教職員で話し合いを重ね、活動を継続することができた。

② 教職員にとって働きやすい職場づくりの実施

すべての部署で実施できたとは言い難いが、有給休暇が取りやすいよう工夫したり、新型コロナウイルス感染症に関しての特別休暇を取得できるようにするなど、働きやすい職場環境づくりを行った。

③ 学園園庭の継続的な整備と管理

学園の園庭の水撒きについては、幼稚園・保育園の保育者や学生アルバイトにも依頼し、園庭の樹木や花を元気に保つことができた。霜が降りた際、園庭が水浸しになったり、年度の終わりに幼稚園の園児が園庭の朽ちた柵などで怪我をすることがあったため、業者と相談し危険と思われる箇所を撤去した。

④ 情報の取扱いについての学びを深める

研修は実施できなかったが、それぞれの部署においては、コロナ禍でもあり、個人情報取扱いが難しいことも多くあり、そのことから学ぶことも多かった。

【育成部門】

《玉成保育専門学校》

① 玉成保育専門学校の方針の明文化

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）、ディプロマ・ポリシー（卒業の規定に関

する方針)の3つのポリシーについての話し合いができず、明確化できなかった。

教職員が同じ価値観で学校運営にあたり、学生・保護者に学校の方針を理解してもらうためには不可欠であるため、2022年度は期限を決めて明文化を実現し、学生募集に繋げたい。

② 「カリキュラム検討委員会」の立ち上げと新しいカリキュラムの検討

2021年度の課題であった文部科学省の教育課程の変更申請の認可を受けることができたが、本校の特色を出した教科名を使用することはできなかった。しかし、非常勤講師に本校の方針を理解し、学生の利益に繋がる授業を展開してもらうために、カリキュラムの検討は引き続き職員会議で続けていく。

③ 学校事務分掌、教務分掌の実施

専任教員、教務事務職員は常に多忙なうえ、未だコロナ感染症対策として使用教室やトイレの消毒は毎日欠かすことができない。その上、実習の日程の変更や延期が、実習園や学生の事情によって増加し、その対応にも追われた。学校事務分掌、教務分掌を整理し確定したが、今後も柔軟な見直しをしながら、学生たちの豊かな学生生活を保障しつつ、教員個々のワークライフバランスも豊かにしていきたい。

④ 「玉成保育専門学校運営委員会」の継続的な開催と「学校評価」の実施

4年前に立ち上げた「玉成保育専門学校運営委員会」であるが、昨年度はコロナ感染症の拡大により、運営委員会を開催することができなかった。今年度は、6月には1回目の運営委員会の開催を予定し、「学校評価」も含め、継続的に実施したい。

関連する「教員評価」については、2021年度は前期・後期で2回実施し、教員へのフィードバックも終えている。2022年度は、ペーパーレス化のため、グーグルフォームを使用したアンケートを実施する予定である。

【保育部門】

《 野のはな空のとり保育園 》

① 保育の「可視化」を前進させることから、保育の質の向上につなげる。

今年度の保育の可視化は、単に園からだけでなく、双方向の発信と情報共有を深めることを目指した。園だよりでは、保護者からの発信を増やし、また職員の自己紹介を掲載したところ、保護者同士や職員のことを知り、親近感や一体感が深まった。

「思い出スナップ」の発行は、これまでのクラス単位から、園児ごとに作成することでポートフォリオ作成のための足掛かりとした。

② 保育実践の記述の学びを継続し、保育の質の向上につなげる。

毎月の個人援助プランの作成と振り返りを、担当職員だけでなくクラス職員全体で話し合っていることにしたことで、子どもを「観る目」が養われ、記録がより具体的なものになった。

③ 保育所保育指針を大前提とし、こどもの木かげの基本理念を踏まえた保育を実践す

る

人、もの、空間、時間の4つの「環境」を大切にす理念を大事にしてきた。今年度のモンテッソーリの学びを通して、教具遊具の使い方を再確認し、手作りモンテッソーリ教具を活用するなど、子どもの成長発達段階に応じたあそびや環境を提供することをより意識することができた。

④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底

消毒作業が職員の負担になっていたが、次亜塩素酸水生成器の設置により、作業の省力化ができた。1・2歳児クラスにサーキュレーターや換気扇を増設し、換気を良くすることができた。また、給食の介助の際に、「口元が見える透明マスク」を職員に配布し、使用することで、コロナ禍が障壁となる食育の課題を一つ解決することができた。

⑤ 地域の子育て支援事業にとりくむ

親子ひろばは、遊具の入れ替えや新規購入をすすめたことから、利用者に好評だった。給食レシピの配布も、毎月楽しみにされる方が多かった。

保育園のドキュメンテーション掲示は、利用するお子さんがよく見るので、保護者の方も一緒に見ながら会話が弾む場面がみられた。

あそびや献立作りなどを通じて、子育てのヒントを保護者に提供できた。

《 玉成幼稚園 》

① 保育の学びを深め、保育の質の向上に努め、実践していく

教育課程の作成は、2022年度への課題となった。

カリキュラムのミーティングを定期的に行うことで、保育計画や子どもたちの活動の姿などを情報交換し、保育の質の向上に努めることができた。

職員全員での定期的な研修と学年を越えた小グループでディスカッション形式の場を持つことができなかったが、リーダー会を多く持ち、幼稚園の現在の課題を出し合うことができた。

② 良好なコミュニケーションと意欲をもてる職場づくりを進める（同僚性）

互いの個性を尊重し認め合い、職位にとらわれず意見を出し合える職場を目指していたが、職位や保育年数にとらわれ、若手が意見を言えない雰囲気があるなど、良好なコミュニケーションがとれたとは言い難い場面もあった。

③ 健康管理や安全・衛生を重視し、新たな保育方針を探っていく

子どもの体調の変化を把握し、敏速に対処していくことができたと考える。コロナ禍ということで、様々な意見をすり合わせながら、日々の保育行事に取り組んだ。

④ 限られた時間内で業務をおこなう

全体会議、学年会議、その他の会議は、事前に議題を明確にして進めることができたが、保育や行事の準備は時間がかかり残業が多かった。

⑤ 個別援助の重要性を理解し、ケースカンファレンスを充実させる

配慮の必要な子どもについての木かけ研修を開催し、理解を深めることができた。

また、個別援助の必要な子どもたちに対しては、専門的な講師を依頼し、ケースカンファレンスを行い、援助のポイントを理解して、子ども・保護者にフィードバックできた。

⑥ ていねいな保護者支援をおこなう

コロナ禍を踏まえ、オンラインの懇談会、入園説明会を開催した。行事の開催やマスク着用についてなど、子どもに関する悩みや園に対する思いなどが多く寄せられたため、一緒に考え解決していくよう努めた。

【地域支援部門】

《 コミュニティコラボ にこにこのたね 》

① 地域における乳幼児期の保育・子育ての拠点としての役割を果たしていく

今年度も「ふたつの芽」「親子ひろば」の2つの事業のみにとどまった。利用人数も減少傾向にあるため、PR方法を考え、活動をより広く知っていただくようにしたい。

② さまざまな地域資源とのつながりを持ち、連携して子育て支援活動を継続していく

松庵小地域子育てネットワークは、引続き重要な繋がりとなっている。また、「杉並要保護児童対策地域協議会」との連携も、重要な位置を占めるようになってきている。

保育園・幼稚園を利用する家庭の中で、要保護児童、要支援児童、特定妊婦が増えてきていることが要因で、守秘義務を守りつつ、職員間でも綿密に連携体制をとって支援していく必要がある。

③ ふたつの芽 親子グループ

5月から予定どおり開始することができ、登録者・出席者はA・B・C各グループとも10名前後であった。

2学期は、幼稚園の感染状況の影響を受け、中止にせざるを得ないこともあったが、参加者はベテラン3名の保育者の支えの中、特に保護者同士のよきネットワークを築くことができた。参加者の中から19名が玉成幼稚園に入園し、入園面接の際も、ふたつの芽に参加することで、玉成幼稚園への理解が深まったとの意見があったことから、大切な活動であると認識している。

④ 親子ひろば

10組の利用制限を継続した。利用家庭の減少のため、月2回までという利用制限は行わず、一家庭が何回でも利用できる月が増えた。熱心なリピーターがいる一方で、新規利用者の開拓を工夫していきたい。

⑤ 健康相談

リピーターの中でも、お子さんの発達に不安を持つ方が、毎回のように相談されるケースがあり、「子育て相談」的なニーズがより濃くなっている。

⑥ 離乳食・栄養相談

具体的なアドバイスが好評で、給食レシピ「むぎのたね」の利用者も多く、子育てに直接的な援助が出来ていると感じる。

⑦ 保育園での離乳食試食体験

飲食が伴うため、今年度も断念せざるを得なかった。

⑧ 園庭開放

密を避けるため 2021 年度は未実施だったが、1 回 5 組まで縮小し、2022 年度から再開する。

⑨ 講座あつまればるた

今年度未実施。

⑩ 妊娠中のお母さんの子育て体験プログラム（出産を控えたご夫婦対象）

保育園 0 歳児クラスに入るのは感染リスクがあるため、今年度も未実施。

⑪ 子育て相談ポルタ

申し込みなし。

(2) 施設・設備等教育環境の充実

・令和 3 年度中における学園の施設、設備等の教育環境整備を以下のとおり実施した。

施設面では、昨年度、長時間保育に使用している「ひかりにじ」室の外部からの雨水滲入箇所と思われる外壁を修理したが、強風を伴う降水時に雨水滲入の痕跡が見られたため、令和 3 年度も修理費用を予算計上したが、原因の特定ができず執行できなかった。

[学園共通]

・修繕 ①学園第 1 種アース工事補充（アース埋設）工事 410,597 円

[専門学校]

・修繕 防火扉煙感知器交換 136,488 円、実習室流し台修繕 73,150 円他

[幼稚園]

・修繕 遊具ネット交換 477,400 円、職員室トイレ改修 290,000 円、りす組エアコン室外機交換 253,000 円、砂場環境整備 206,140 円、多目的室壁紙貼替え 138,600 円他

[保育園]

・備品 保育室・厨房サーキュレーター設置 402,050 円、非常通報装置（学校 110 番）299,970 円、Wifi アクセスポイント設置 239,800 円

・修繕 保育室 LED 照明設置 1,174,173 円、外階段錆止め塗装 578,000 円、2F ウッドデッキ塗装 294,000 円、厨房職員用トイレ改修 241,340 円他

[法人]

・修繕 非常用照明器具 2,843 円他

学校法人アルウィン学園役員並びに評議員（令和3年度）

理事（定数：8名 欠員1名 任期：2021年1月1日～2025年10月31日）

	役職	氏名	選任条項	備考	
1	理事長	高橋かずみ	第6条第2項	理事総数の過半数の議決により選任する	1名
1	理事	藤岡 郁子	第7条第1項第1号	この法人の設置する玉成保育専門学校の校長	1名
2	理事	欠員	第7条第1項第2号	評議員のうちから評議員会において選任した者	5名
3	理事	高橋かずみ			
4	理事	佐久本宏美			
5	理事	安田 淳一			
6	理事	国分 紀之			
7	理事	今関 公雄	第7条第1項第3号	学識経験者及び功労者の中から理事会において選任した者	2名
8	理事	小倉 昇			

監事（定数：2名 欠員0名 任期：2021年1月1日～2025年10月31日）

1	監事	阿部豊太郎	第8条第1項	理事会において選出した候補者の中から、評議員会の同意を得て、理事長が選任する	2名
2	監事	勝間田清一			

評議員（定数：17名 欠員1名 任期：2020年1月1日～2023年10月31日）

1	評議員	藤岡 郁子	第24条第1項第1号	この法人の設置する玉成保育専門学校の校長	1名
2	評議員	欠員	第24条第1項第2号	この法人の職員で理事会において推せんされた者の中から、評議員会において選任した者	8名
3	評議員	高橋かずみ			
4	評議員	佐久本宏美			
5	評議員	安田 淳一			
6	評議員	春澤 薫			
7	評議員	原田麻衣子			
8	評議員	山本 直子			
9	評議員	黒田 康子			
10	評議員	国分 紀之	第24条第1項第3号	この法人の設置する学校及び幼稚園を卒業した者で、年齢25年以上の者の中から、理事会において選任した者	3名
11	評議員	西川 涼			
12	評議員	関本 〇子			
13	評議員	今関 公雄	第24条第1項第4号	評議員会において選任された理事以外の理事	2名
14	評議員	小倉 昇			
15	評議員	加藤 正克	第24条第1項第5号	この法人に関係のある学識経験者及び功労者の中から、理事会において選任した者	3名
16	評議員	花井 香			
17	評議員	茂井万里絵			

3. 財務の概要

(1) 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産	780,025,957	783,320,946	771,037,016
流動資産	213,834,365	233,809,696	247,119,933
資産の部合計	993,860,322	1,017,130,642	1,018,156,949
固定負債	1,416,636	108,972	0
流動負債	63,547,503	68,727,875	64,212,119
負債の部合計	64,964,139	68,836,847	64,212,119
基本金	906,483,770	900,712,570	902,033,337
繰越収支差額	22,412,413	47,581,225	51,911,493
純資産の部合計	928,896,183	948,293,795	953,944,830
負債及び純資産の部合計	993,860,322	1,017,130,642	1,018,156,949

イ) 財務比率の経年比較

	2019年度	2020年度	2021年度
特定資産構成比率 特定資産/総資産	40.1%	40.9%	41.6%
純資産構成比率 純資産/(負債+純資産)	93.5%	93.2%	93.7%
繰越収支差額構成比率 繰越収支差額/(負債+純資産)	2.3%	4.7%	5.1%
積立率 *1 運用資産/要積立額	117.9%	121.1%	121.4%

*1 積立率 = (特定資産+有価証券+現金・預金) / (退職給与引当金+2号基本金+3号基本金+減価償却累計額)

(2) 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒納付金収入	156,166,000	171,716,000	164,089,500
手数料収入	1,834,500	1,585,450	1,279,500
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	214,722,050	224,398,034	229,194,670
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	25,943,328	22,869,480	25,874,730
受取利息・配当金収入	41,983	43,712	11,306
雑収入	18,000,474	25,097,706	25,221,997
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	45,060,000	38,898,500	38,481,800
その他の収入	29,155,119	24,468,195	36,095,981

資金収入調整勘定	△56,456,323	△81,155,981	△69,819,884
前年度繰越支払資金	160,640,380	188,495,896	195,516,896
収入の部合計	595,107,511	616,416,992	645,946,496

支出の部	2019年度	2020年度	2021年度
人件費支出	284,961,987	302,340,782	309,653,971
教育研究経費支出	43,165,581	53,604,457	51,439,597
管理経費支出	42,707,717	47,179,114	57,291,132
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	5,940,000	7,716,560	289,000
設備関係支出	9,236,591	1,563,646	1,034,627
資産運用支出	24,012,494	17,012,873	8,012,924
その他の支出	11,200,316	15,856,635	26,245,195
資金支出調整勘定	△14,613,071	△24,373,971	△21,807,167
翌年度繰越支払資金	188,495,896	195,516,896	213,787,217
支出の部合計	595,107,511	616,411,992	645,946,496

(3) 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

科 目		2019年度	2020年度	2021年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	156,166,000	171,716,000	164,089,500
	手数料	1,834,500	1,585,450	1,279,500
	寄付金	0	0	0
	経常費等補助金	212,769,050	223,651,034	228,513,700
	付随事業収入	25,943,328	22,869,480	25,874,730
	雑収入	18,000,474	25,097,706	25,221,997
	教育活動収入計	414,713,352	444,919,670	444,979,427
	事業活動支出の部			
	人件費	284,961,987	302,340,782	309,653,971
	教育研究経費	58,044,470	69,237,107	66,321,887
	管理経費	50,407,763	54,709,703	64,044,810
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	393,414,220	426,287,592	440,020,668
教育活動収支差額	21,299,132	18,632,078	4,958,759	
教育活動	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	41,983	43,712	11,306
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	41,983	43,712	11,306
	事業活動支出の部			

外 収 支	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	41,983	43,712	11,306
經常収支差額		21,341,115	18,675,790	4,970,065
特 別 収 支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	1,953,000	747,000	680,970
	特別収入計	1,953,000	747,000	680,970
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	0	25,178	0
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	25,178	0
	特別収支差額	1,953,000	721,822	680,970
	基本金組入前当年度収支差額		23,294,115	19,397,612
基本金組入額合計		△14,917,955	0	△1,320,767
当年度収支差額		8,376,160	19,397,612	4,330,268
前年度繰越収支差額		14,036,253	22,412,413	47,581,225
基本金取崩額		0	5,771,200	0
翌年度繰越収支差額		22,412,413	47,581,225	51,911,493

(参考)

事業活動収入計	416,708,335	445,710,382	445,671,703
事業活動支出計	393,414,220	426,312,770	440,020,668

イ) 財務比率の経年比較

	2019 年度	2019 年度	2021 年度
人件費比率 人件費/經常収入	68.7%	67.9%	69.6%
教育研究経費比率 教育研究経費/經常収入	14.0%	15.6%	14.9%
学生生徒等納付金比率 学生生徒等納付金/經常収入	37.7%	38.6%	36.8%
補助金比率 補助金/事業活動収入	51.5%	50.3%	51.4%
經常補助金比率 教育活動収支の補助金/經常収入	51.3%	50.3%	51.4%
經常収支差額比率 經常収支差額/經常収入	5.1%	4.2%	1.1%
教育活動収支差額比率 教育活動収支差額/教育活動収入計	5.1%	4.2%	1.1%